

# モリメイト通信

## 10月1日(木曜日) 1年ぶりのチップパー機、トラブル続出

【参加者:池本、越智宏、梶川、北、木谷、芝田香、鈴木哲、中

計8名】



風が透き通り、天が高く感じられる今日は、1年ぶりにチップパー機に倉庫から出て活躍してもらった日である。早速エンジンをかけるも久しぶりの使用のためかエンジンがかからない。ブースターでバッテリーをつなごうとしたがコードが届かない。そこで、梶川さんが自宅までブースターを取りに行ってくれることになった。梶川さんには申し訳ないことになったが、しばらくしてエンジンがかかりチップパー機が動き出した。

「くぬぎの森作り」の植樹予定地に行き、チップパー処理を開始。チップも裂きイカのような状態でありあまり調子がいいとはいえなかったが何とか動いてくれた。動き続けてくれることを祈りながらチップパー処理を続け、チップを「くぬぎの森」予定地に撒くという作業を続けていた。

30分間ほど動いたであろうか。チップパー機はまたもや停止。粉碎部分を分解し、詰まった破片やほこりを取り除きエンジンをかけるがかからず。ご老体のチップパー機、1週間休ませてあげればまた動いてくれるだろうとチップパー処理を終えることにした。

「第6回くぬぎの森作り」の看板を立て、今日の作業は終了。



## 10月15日(木曜日) チップパー機快調に動く！

【参加者:池本、越智宏、越智美、梶川、北、木谷、芝田香、芝田美、鈴木哲、鈴木明、中 計12名】



先週に引き続き、「くぬぎの森づくり」植樹予定地の残材のチップ処理を行った。初めは刃の回転が遅くて心配したが徐々に調子がよくなり止まることなく動いてくれた。除伐した枝や散らばっている枝をチップ機のところまで運ぶ者、チップ機に入れる者、手渡す者と作業は効率よく進み、植樹地に散在していた残材はすべて処理することができた。

午後からはカブトムシの森にあった残材のチップ処理と草刈りを行った。

モリメイト会議

- ・「第6回くぬぎの森づくり」の最終確認
- ・チップ機の修理と点検を事務所に依頼



## 10月22日(木曜日)

### 杉の丸太運び・植樹位置に目印・植樹地の最後の整備

【参加者:池本、越智宏、越智美、梶川、北、木谷、芝田香、芝田美、鈴木哲、鈴木明、中 計11名】

午前中は、植樹地の最後の整備と植樹するところが分かるように植樹位置に竹の棒を立てた。竹の棒は目立たず、目をつく危険があるという指摘を受けたので、先に赤いテープ巻くことにした。

午後からはビートルズベッドの柵や公園内の橋の修理などに使う丸太を杉林から運び出した。



## 10月29日(木曜日)

### 塩ビ管を埋める工事と花菖蒲園の草刈り

【参加者:越智宏、越智美、梶川、北、木谷、芝田香、芝田美、杉、鈴木哲、鈴木明、中 計11名】

モリメイトフィールドに入る道は常にぬかるんでいて軽トラが動かなくなるということがしばしばあったので水を抜く作業をすることになった。北さんが塩ビ管を提供してくれるということになったので北さんと鈴木さんが連絡を取り、山城まで取りに行った。その間、他の者は溝を掘り、塩ビ管が来るのを待った。山城から森林公園まで軽トラで1時間ほどかけて運んだ。

午後から塩ビ管4本を埋める作業に取り掛かった。

花菖蒲も枯れ始めたので周囲の草と一緒に刈ることにした。草刈り機でざっと刈った後、手鎌で花菖蒲の葉を20cmほど残し、周りの草をきれいに刈っていった。

